

4月7日出発限定

小笠原への旅は「ハローボニンツアー」

特別企画

後援:小笠原村、小笠原村観光協会、小笠原母島観光協会



愛鳥家必見

おこしま 聳島列島でアホウドリ類

母島でメグロ

11泊12日

世界自然遺産候補地

小笠原

バードウォッチングの旅

※聳島列島には上陸しません。※アホウドリ類、メグロ等は野生動物ですので見られないこともございます。

4月7日(月)~18日(金) 11泊12日

おとな 1名さま

138,000~220,000円

1名さまより受付可

特典 らくらく乗船クーポン付

おがさわら丸の受託手荷物1個が無料になります!(往復とも) ※三辺の和が2m以下で重量20kg以下に限る

小笠原諸島返還40周年



東京から南へ1,000km、誰もが知っていて、誰もが行ったことがない島へ。



ふだんは父島~母島間の定期船として活躍している「ははじま丸」でアホウドリ類の聖地・聳島列島へ!

オプションで訪れることができる南島の陰陽池は渡り鳥の中継地。フリータイムを使って出かけてみては。

聳島列島

父島列島 東京から1,000km
母島列島 父島から50km

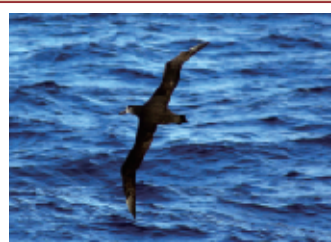
海洋島だからこそ、小笠原だからこそ会える鳥たちがいいます。

一度も大陸とつながったことがない海洋島・小笠原は、独自の生態系が進化し、東洋のガラパゴスとも言われる地。鳥たちにも固有種や固有亜種、希少種などが見られ、興味深いフィールドとなっています。本ツアーは、地球上で小笠原・母島列島でしか見られないメグロを訪ねたり、アホウドリ類の繁殖地創造が始まった聳島列島へのクルーズを組み込んだりするなど、ここ小笠原ならではの魅力を凝縮した特別企画。愛鳥家のみなさまにきっとご満足いただけます。

旅のハイライト 1

ははじま丸で行く 聳島列島 あほうどりクルーズ

6日目



【クロアシアホウドリ】「くろぶ」とも呼ばれる。全身黒褐色。聳島列島全域および母島列島の属島で繁殖。

現在2種類のアホウドリ類(クロアシアホウドリ、コアホウドリ)が繁殖している聳島列島では、2008年2月より環境省と山階鳥類研究所が主体となり、アホウドリの繁殖地を創造するための野外飼育がスタート。北半球に生息するアホウドリ3種類が一か所で繁殖するのは、世界広しといえど聳島列島のみです。本ツアーでは4月12日に実施される聳島列島へのクルーズ(上陸なし)にも参加。解説スタッフと共に「ははじま丸」でアホウドリ類の聖地を目指します。



【コアホウドリ】白と黒のコントラストが美しい種。国内では、聳島および鳥島でのみ繁殖している。

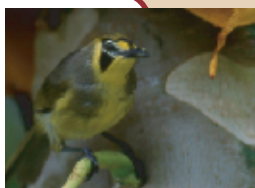


小笠原ホエールウォッチング協会(OWA):小笠原のホエールウォッチングとエコツーリズムの振興を目的に1989年に設立。鯨類をはじめとする各種研究を通して、情報提供やガイドの育成などの普及活動を行っている。2005年、環境省より第1回エコツーリズム大賞優秀賞を受賞。

旅のハイライト 2 3日目

特別天然記念物 メグロに会いに

小笠原の村島であり、特別天然記念物でもあるメグロは、母島列島でしか見られない固有種。本ツアーでは3日目の南崎・小富士トレッキングで出会えるかもしれません。双眼鏡を使わず間近で観察できることもあります。



小笠原諸島は米軍統治下から日本に返還され、今年で40周年を迎えます。

小笠原諸島返還40周年記念事業イメージキャラクター「40くん(よんまるくん)」

小笠原の大自然を是非、体感して下さい。島民の素朴な温かい笑顔が皆様を歓迎いたします。

小笠原村長 森下一男

